

# なからぎ

173号

2005年10月

## 植物探索の助っ人

人間環境学部長 下村 孝

植物園やフラワーパークなどで美しい植物や珍しい植物を発見し、手元で栽培してみたいと思った時、どうすればいいだろう。まず、ラベルで名前を確認し、事務所で入手先が確かめられたら、そこから購入できるかも知れない。しかし、すでに、品切れしていたら、あるいは、入手先が分からなかったらどうすればいいのか。園芸店や、ホームセンターで探すのが一つの方法で、それで見つからないと、種苗会社のカタログや、ウェブ上の販売網で検索する事もできる。しかし、見つかるとは限らない。およそ、日本のどこで生産され、販売されているかも分からないのが現状だろう。結局は諦めてしまうという経験をした園芸愛好家も少なくないと思う。ところが、ガーデニングの本場・イギリスでは、状況が大いに違う。

イギリスの園芸愛好家は、およそ、イギリスで生産、販売されている園芸植物のかなりの部分をほぼ確実に入手することができる、あるいは、入手できないことを確認することができる。その決め手が、プラントファインダー（RHS Plant Finder）という1冊のペーパーバックである。RHS(Royal Horticultural Society)は王立園芸協会と訳される英国王立典法による特別公益法人で、全世界に会員30数万人を擁する園芸の一大拠点である。このRHSが毎年発行する大部(今年度版は954頁)のプラントファインダーは、73000(同年度)におよぶ園芸植物の名称(種名および園芸品種名)を記載している。それぞれの植物名には、アルファベット4文字からなる記号が1~複数個付記されている。これが、イギリス全土に分布するナーセリー(苗生産業者)の略号である。もう、お分かりの方もあると思う。そう、自分が探す植物名が分かれば、その植物を生産しているナーセリーがあるかないか、あればどのナーセリーかを知ることができるのである。別項には、ナーセリー(今年度は739軒)の正式名や、住所、電話、メールアドレス、ホームページurlはもとより、カタログの有無、通販の可否、営業日時、輸出の可否などがまとめられている。さらに、巻末には、英国全土の分県地図にナーセリーの位置が示されている。もちろん、世界の園芸家が一目置くRHSの専門スタッフが編集に責任を持ち、分類に関する情報は極めて正確である。最新のものを含めて編集に用いた文献もリストアップされているので、園芸植物の分類に関する最新情報を手に入れる上でも大いに有益である。

14.99ポンド(今年度版)のこの本は、都市緑化・ガーデニングを専門とする筆者にとって、「使う本」(「なからぎ」前号、渡辺信一郎教授)の内のもっとも重宝する1冊である。

下村 孝(しもむら たかし)

## 「人間のアトム化」について

福祉社会学部教授 津 崎 哲 雄

本学で行われた野田正彰氏の講演会を覚えていますか？そこで紹介された『人殺しの女の子の話』(西岡兄妹、青林工藝社、2002年初版、2004年二刷)を深刻に受けとめた人は、どれ位いるのでしょうか？

この絵本は、「人を殺したい 女の子はそう思いました 理由はありませんでした」という文だけの一頁で始まり、「このように女の子は死んでいきました 幸せでも 不幸でもありませんでした おしまい」という文だけの終頁で閉じています。美しいイラストで描かれた少女、母父殺し、裁判、天国、絞首刑のありさまは、添えられたおぞましい文章を読まねば、若者向きの素朴な絵本の類と思うでしょう。野田氏は、関西で発生した男女学生による親殺しに本書が影響を及ぼしているだろうと指摘しました。おそらく、間違いのないでしょう。

ところで、筆者はこの本に接し、マックス・ピカートの『騒音とアトム化の世界』(佐野利勝訳、みすず書房、1971年)の次の一節を思い起こします。

「引き裂かれ、また自らも裂きながら 解体せられ、また自らも解体の作業をおし進めながら 分裂され、自らも分裂を推進しつつある・・・これが現代人の構造、現代人の外部的生活の構造なのだ。そして原子爆弾の構造がまさにその通りである。原子爆弾と現代人のこの構造とは一緒に眺められなければならない。もしも人間にこのような構造がないとすれば、原子爆弾は発明されなかったことだろう・・・現代人は内部的に連関性を喪失した右

往左往の状態のなかに生活している。われわれは内的に引き裂かれてしまっているのだ。われわれは連続性のなかに生きているのではなく、非連続性のなかに生きているのである。一つの印象、一つの感情、一つの思想は、隔絶されながらそれぞれ別の印象や感情や思想のそばに平気で並んでいる いや、他の印象のそばに並んでいるのではなく、まるでそれに先行するものが全くなかったかのように、次々にたち現れるのだ・・・もはや対象なるものは何ら意味をももってはいない。対象は瞬間を埋めるための単なる充填物へと転落してしまったのだ。」

これは、半世紀前にスイスの精神科医、ピカートが現代人の構造を表象した言葉です。「アトム化」(Atomisierung)した現代人の内的構造と原爆製造の基本構造の連関を想起させてくれます。アトム化とは、核家族化という場合の「核」に似た、それ以上細分化できない空間(物理) - 原子核 - 的、時間 - 瞬間 - 的存在が、外力により分裂させられ、自らも分裂を推進しはじめ、歴大なエネルギーを放出してゆき、諸問題の元凶となるということのようです。ピカートは、「人間アトム化の装置・人間と対象の出会い・魂と技術・アトム化と人間の姿・没落か或は救済か」(小見出し)という視点で、ケンタウルス(怪物 = アトム化した人間の喩え)のような、現代技術との奇妙な統一体になり下がった人間の思考・行動・情緒反応を描き出します。

こう述べれば難しいようですが、要するに、ものごとや人間が他とつながっていることを

前提に、考え、感じ、行動することができなくなったのが現代人であり、アトム化した人間が現代の存在様式だというわけです。なぜそうなったのか、ピカートは、こう説明します。ラジオやテレビを現代技術の代表としますと、こうした技術(製品)が、人間の思考・行動・情緒反応をバラバラにするメカニズムをもっており、こうした技術に順応することは、ここかしこで、日々出逢い、刻一刻接する対象と関わりつつ営む生を不可能にするというのです。人が接する対象に充分時間(ピカートは時間=愛とします)とエネルギーを注ぎかけ、何らかの情報や刺激や感覚を受けつつ、与えつつ関係を築くという人間存在のあり方が、途方もない現代技術(結果としての機械・製品)に呑み込まれてしまい、不可能になってしまったというのです。

例えば、マスコミ報道(テレビ・ラジオなど)では、飢餓報道の直後(隣)にグルメ・ダイエット番組、天災被害速報の次(傍ら)には古都探訪あるいはヨン様特番など、相互に連関を欠いた情報・刺戟をバラバラに瞬間瞬間、刹那刹那に、私たちは受け続けています。現代技術が絶え間なく押し付ける龐大な(情報・刺戟という形での)対象群といちいち出会うことは不可能です。対象には当然人間も、具体的な個人・集団も含まれます。こうして一つの対象とじっくり対峙し、考え、感じ、思うことのない生に慣れてしまうとすれば(私たちはほぼ全てが既にみごとにそうなってしまうのですが)アトム化した思考・行動・情緒反応が普通になるのは当たり前でしょう。

ピカートによれば、アトム化していない人間の一人はレオナルド・ダ・ヴィンチです。彼は、他船撃沈ではなく人命救助が潜水艇の使命だと設計図に記し、濫用を恐れて公表しなかったそうです。第一次世界大戦後、飛行機の軍用禁止を世界に訴えたランズベリ(ヒトラーに面談し非戦平和を説いた英労働党首)

もたぶんそうでしょう。技術に人間の魂が屈服させられていなかった時代も確かにあったのです。

ピカートは、精神科臨床経験から、こうした人間のアトム化の影響・被害が幼子や学童に及ぶことを懸念しています。「今日の多くの子ども(生徒)はもともと自己自身の内部から混乱しているのではなく、彼らの環境の混乱に参加せずにはおれないのだ」(同書「子供の魂への闇入」と断定します。混乱した環境とは、携帯・インターネット・自販機などの現代技術のことだけではなく、アトム化した親・教師・宗教家・政治家・役人など全ての大人(という人的環境)を意味しているでしょう。

理由なく親を殺して、幸福でも不幸でもない若者は、援助交際という自分殺しに何の躊躇<sup>ためら</sup>いも矛盾も感じないでしょう。アトム化が今日の存在様式ですので、健康を害することが自明でも公認嗜癖害物<sup>た</sup>を売りまくる政府・企業など組織体も、この若者と同じです。

ピカートは、散歩する自分の傍らをふっとばすオートバイ青年を50年代のケンタウルス(アトム化した怪物)に喩えています。21世紀の日本では、さしずめ四六時中聖徳太子のような格好で携帯を握りしめ、電磁波を垂れ流し続け、傍若無人に振る舞う大衆でありましょう。

アトム化した人間が普通の存在であるというのなら、アトム化しない人間はどうなるのでしょうか。いるのでしょうか、いないのでしょうか。いるなら、どのような姿でアトム化極まった現代の世界に生き延びているのでしょうか。

残念ながら、この先は、彼の本をご自分でお読みください。ちなみに、ピカートには他に次の著作があります。『沈黙の世界\*』『神よりの逃走\*』『われわれ自身のなかのヒトラー』『人間とその顔』『ゆるぎなき結婚』(いずれもみすず書房刊、\*のみ府大図書館蔵)。

## 図書館日誌

### 平成17年度 第2回 図書館運営委員会開催報告

今年度第2回目の附属図書館運営委員会が8月10日に合同講義室棟第1会議室で開催されました。議題1の「外国雑誌購読の見直しについて」であります。第1回の委員会で全学共通性のあるもの以外は購読を中止することが提案され、教員会議に諮ってもらうことになっていました。各学部、農学研究科から教員会議で出された意見等について報告があり、外国雑誌の購入中止に慎重論もありましたが、図書費確保のためには研究用雑誌の購入中止は止むを得ないとのことでありました。そこで、委員長から図書館で今年度購入の25誌のうち一般的な Fortune Nature Science Scientific American Cellの5誌は引き続き購入するが、それ以外は購入を中止する旨提案され承認されました。つぎに、議題2の「電子ジャーナルの導入について」であります。電子ジャーナルワーキンググループでは、教員に対するアンケート調査・類似公立大学への電話聞き取り調査を実施、7月22日に調査結果に基づき協議し、現在導入済みの Springer Link の次に導入する電子ジャーナルの第1候補としてアグリゲーター系の EBSCO host のパッケージ Academic Search Elite (ASE) が(人文・社会・理工・医学までの幅広い分野、全文収録約3,470誌の Index/Abstract、約2,050誌の全文を収録)がよいのではとの結論になった旨リントゥルト委員から報告がありました。これを受けて委員長から、平成18年度から Academic Search Elite (ASE) の導入を確認したい。財源確保については予算要求を含め今後の協議事項としたい旨提案され承認されました。また、委員長から、選書体制の確立、第三者評価への対応を見越した施設設備、図書館サービス等将来方向検討のためのワーキンググループを立上げたい。電子ジャーナルワーキンググループは、今後も効率的・効果的導入、新聞・辞書等のデータベース導入を検討するため継続したい旨諮られ承認されました。

### 電子ジャーナル ~part 2~

今年の4月から「SpringerLink」を導入し、図書館運営委員会・ワーキンググループや全学的議論等が重ねられ、現在いくつかの電子ジャーナル・データベースが利用可能となっています。以下にその紹介をしたいと思います。(詳しくは「図書館ホームページ」をご覧ください)

#### 1 SpringerLink (出版社系)

2005年4月より利用可能となっています。旧Springer-Verlagおよび旧Kluwer Academic Publishersの1,148タイトルが見られます。2006年は、冊子体から電子版中心へ価格体系が変更となり、全学的な議論が望まれるところです。

#### 2 The Times Digital Archive 1785-1985 (オンライン・データベース)

1785年の創刊から1985年までの「ロンドン・タイムズ」が、全紙面収録されており自在に検索・閲覧できます。

#### 3 EBSCOhost (アグリゲーター系)

Academic Search Elite World History Collection の2つのデータベースが利用できます。詳細は別稿の「[EBSCOhost 外国雑誌論文オンライン・データベースの御案内](#)」をご覧ください。

#### ご利用にあたって

\* 電子ジャーナル記事の閲覧・ファイルのダウンロード、プリントアウトは個人の調査・研究目的の範囲内の利用となっています。大量ダウンロードなどは厳禁です。不正使用が判明すれば、全学利用不能となりますので、著作権等も守って頂き、公正な利用をして頂くようお願いいたします。

## 電子ジャーナルこぼれ話 ~カウンターでの出来事~

## その 論文が消えた？

Aさんから論文取り寄せの依頼がありました。「この論文、"PubMed"(米国国立医学図書館作成の無料の生命科学系データベース)を検索しても、出てこないんです。1987年の論文なので、そんなに古くはないのですが…」と、不安気。

図書館で念のためPubMedを調べてみましたが、確かにこの論文はヒットしません。確認のため、PubMedのJournal Databaseで、この雑誌からの論文の採録状況を確認してみました。すると、1978年から刊行されている雑誌なのですが、PubMedの採録誌となった(データベース収載のため、論文を集めるための雑誌)のは、1988年から。つまり、探している論文の翌年からということが判明し、収録されていないのは当然とわかり安心。

次に、ひょっとしてオンラインで見られないかなあと、とりあえず雑誌名から、インターネットを検索しました。この雑誌は、サイエンスダイレクトという電子ジャーナルのデータベースの中に収録されていました。が、本学は契約していないので全文を見ることはできません。けれど、著者・論題は確認できます。運がよければ、無料お試し号になっていて全文見られるかもしれませんが、しかし、発行年、巻号、頁をたどっていても論文が出てこない。該当頁から始まる論文がありません。もう一度、念のためにGoogleで著者論題を入れて雑誌名を確認しましたが、Aさんの情報に間違いはなく、この論文は、いろんな論文に引用されているということがわかるばかり…。

こんな不確かな情報で他大学に取り寄せ依頼することはできません。

そこで、雑誌を所蔵している某大学に事情を説明して確認してもらうことにしました。確かにその論文は、Aさんの情報のとおり巻号頁に存在すること。

しかし、これで一件落着とはいきません。まだ、疑問が残ります。どうして、サイエンスダイレクトのデータベースで論題がヒットしなかったのか。合わせて確認してもらったところ、データベース作成の際に、この論文のデータを採録するのが漏れてしまい、前の論文のデータになってしまっていた、つまり、前の論文が長い長い論文になってしまっていたということが判明しました。あ～、これで、すっきりしました。

## その 目から鱗！

Bさんから、多数の論文取り寄せの依頼がありました。

調べてみると、その中の多くが、オンライン上で見ることができました。その中には、出版社が提供している電子ジャーナルのフリーアクセス分もありましたが、出版社サイトから入るとダメだけれど、論題を入れるとヒットするという例もありました。

その旨をBさんに連絡しました。すると「オンライン上で見られるのはわかっています。しかし、オンライン上の情報は不確かで、発表されてから変わることもあるので、プリント版からのコピーを取り寄せてください。」というお返事をいただきました。

最近、論文の取り寄せの依頼をする前にネットで検索し、論文がヒットすると「オンラインで見られますよ！」とうれしそうに案内していた筆者。ガツンとききました。

インターネット上の情報は、確かにとても便利です。従来のように資料を持っている場所へ足を運ばずとも、所蔵している機関に依頼しなくても、キーボードの操作一つで、自分の欲しい情報を得ることができます。しかし、便利な反面その情報は玉石混淆。信憑性を見極める目がひじょうに重要です。

あらためてそのことを痛感し、身の引き締まる思いがした出来事でした。

## EBSCOhost 外国雑誌論文 オンライン・データベースの御案内

2005 年 9 月 京都府立大学附属図書館

### データベースの概要

EBSCOhostは外国雑誌論文をインターネット(学内端末・研究室のパソコン)で検索利用できる外国雑誌オンライン・データベースです。検索した論文の全文・抄録はすべてプリントアウト(印刷)・ダウンロード(保存)・E-mail送信できます。インターネットにつながった図書館や研究室の学内端末から、台数無制限で24時間/365日いつでもご利用いただけます。学内での検索結果のリンクを個人アドレスへE-mail送信すれば、ご自宅でも論文を読むことができます。製本中、貸し出し中などの理由から閲覧が遅れることがなくなり、大学で未購読の重要タイトルも利用が可能になります。

利用できるデータベースは下記のとおりです。

Academic Search Elite は人文、社会、自然科学分野3,485誌(内2,611誌がPeer-Reviewed)の索引・抄録、2,053誌(内1,513誌がPeer-Reviewed)の全文を収録しています。

World History Collection 歴史関係のコンテンツを集約したデータベースです。収録範囲は、アフリカ、アジア、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパ、中東を含みます。全文は140タイトル以上を収録しています。

<フルテキスト・データベースのタイトルリストはログイン画面からアクセスできます。>

Peer Reviewed...論文審査制雑誌

Embargo (Full Text Delay)...刊行から収録までEBSCOhostのデータベースに収録できない月数

### データベースへのアクセス方法

京都府立大学附属図書館のホームページ <http://www.kpu.ac.jp/toshokan/toshokan.html> にアクセスします。図書館のトップページにある [EBSCOhost オンラインデータベース](#) 無料トライアル中をクリックするとログイン画面が表示されます。その画面上部のEBSCOhost 入口をクリックするとデータベース選択(Choose Databases)画面が表示されます。その画面の右上にあるLanguageのドロップダウンで10ヶ国語のインターフェイスに切り替えられます(初期設定は日本語)。次にご覧になるデータベース名を選択します。単独のデータベースを選択する時はタイトル名をクリックし、複数のデータベースを選択する場合はチェックボックスにマークを入れ続行(Continue)ボタンをクリックします。

### ご利用方法

データベースへのアクセスが完了すると検索画面 **Advanced Search** **詳細検索** が現れます。必要なキーワードを入力し、Searchボタンをクリックすれば、新しいものから順に論文が表示されます。なおソート機能(Sort by)で著者、雑誌名のアルファベット順、また入力した語句の使用頻度の高い順(Relevance)に並べかえることができます。論文はHTMLとPDFの2種類でご覧いただけます。

書誌事項(Index/Abstract)を表示するCitation(索引・抄録)では、書誌事項からのハイパーリンク機能で、同一著者、同一記載誌、同一刊号、同一主題、同一企業に該当する他の論文の一覧をワンクリックで表示します。新しい検索を行う場合は画面最上部のNew Search 新規検索をクリックします。

また検索式を残したまま初期画面に戻る場合は **Refine Search** **検索条件の変更** をクリックします。さらに複合検索の追加や限定機能でさらに絞込む場合に使用します。

キーワード検索 **Advanced Search** **詳細検索** での複合検索。タイトル、著者、主題、企業名などに限定できるだけでなく、絞り込み機能(Limiters)では、全文収録、出版年月、学術誌などの項目ごとに限定できます。拡張機能(Expanders)では、全文(通常はCitation=索引・抄録)から、また関連語の検索に拡張できます。

<手順> Find欄(検索条件)に検索したいキーワードを入力。

入力欄は合計で3つ。左のドロップダウンから"and"、"or"、"not"を選択。

"A and B" = AとBを両方含む論文を検索します。

"A or B" = AまたはBを含む論文を検索します。

"A and B not C" = AとBを両方含むが、Cは含まない論文を検索します。

Field欄(検索するフィールド)からキーワードが含まれるフィールドを選択。

\* (例) TI=論文のタイトル、AU=著者、SO=雑誌名、CO=会社名

Default Fields(デフォルト フィールド)はすべてを含みます。

TX All Textは論文・記事の全文からも検索表示します。

<検索条件の限定 Limit your results>

論文の全文収録限定をはじめ、出版社、出版年月、学術誌、ページ数などに限定して検索表示させることができます。

## &lt; 検索条件の拡張 Expand your search to &gt;

通常は索引・抄録 (Citation) から検索しますが、論文・記事の全文から検索できます。  
また関連語・同義語も含めて検索することができます。チェックボックスをクリックして下さい。

## OPACリンクとNACSIS Webcat Plusへのリンク

検索結果画面の論文単位に表示してある  OPAC Searchをクリックするだけで京都府立大学図書館の所蔵検索画面 (OPAC) にリンクします。また  Search Webcat Plus ボタンをクリックして他大学の所蔵が確認できます。

## 雑誌名検索

**Publications** **出版物** 雑誌名およびその刊号から検索するのに便利です。初期設定のAlphabetical (アルファベット順)では雑誌名のアルファベット順に並べられ、入力したスペルで始まる雑誌名を検索します。

その雑誌 (AbstractsとFull Text) の収録期間などが確認でき、雑誌名の巻号から検索することができます。論文を表示します。

By Subject & Description (サブジェクトおよび説明別) では雑誌ごとのサブジェクトと説明文に含まれる語句のあるもの (雑誌名) を表示します。

Mach Any Words (単語を含む) ではキーワードを入力することにより、論文ごとの書誌事項の中からより多く含む雑誌の順に表示します。

## 主題検索

**Subject Terms** **サブジェクトの用語** (ASE) **サブジェクト** **Subjects** (WHC)

Browse for (ブラウズ) の右枠に必要なSubjectをタイプしBrowse (検索) ボタンをクリックします。表示されたサブジェクトをクリックすると、そのサブジェクト(キーワード)の関連語を表示し、そこから論文検索ができます。チェックボックスにマークしSearchボタンをクリックすると、該当のSubjectを持つ論文・記事が表示されます。

## インデックス検索

**Indexes** **インデックス** 該当検索項目の収録数を確認できます。

Browse an Index (インデックスのブラウズ) のドロップダウンで項目を選択して、Browse for (ブラウズ) 右枠にキーワードを打ち込み、検索ボタンをクリックします。データベース内の収録数を確認でき、チェックボックス  をクリックし、画面上部のSearch (検索) ボタンをクリックすると、論文の結果リストが表示されます。

## レファランス検索

**References** **引用文献** (World History Collectionに表示)

学術論文の引用参考文献がデータベース化されることにより、引用文献を検索表示できます。引用文献ごとに他の収録論文に引用されている回数 Cited References (5) このデータベースでの引用回数 (5) が表示され、その論文を検索表示できます。また各論文ごとに引用論文の数 References (24) 引用文献(24) が表示され、それをクリックすると引用論文一覧にリンクします。

## 付加サービスデータ

**Images** **画像** (ASEに表示)

歴史的な写真や絵画、人物や自然界の写真、国旗、地図などが御覧になれます。

## 検索履歴の保存アラート

**Search History / Alerts** **検索履歴 / アラート**

検索履歴の保存と取り出し、および保存した検索式について新たな情報が収録された際に、Eメールでお知らせするアラート機能がご利用になれます。

検索式の保存方法とアラート機能個人アカウントの設定は <http://www.kyokuto-bk.co.jp/ebSCO/guide.phtml> を御覧ください。

## その他

検索結果の論文表示の右端にある Add **追加** をクリックと Added **追加済み** に変わり、その上部のホルダー  に入ります (  Folder is empty フォルダは空です. が  Folder has items. フォルダ内にアイテムがあります. に変わります) .まとめて印刷、保存、Eメールをすることができます。また Preferences **ユーザ設定** (画面右最上部) で検索結果の論文表示数を5,10,20,30,40,50に設定変更 (初期設定は10) することができます。また **Choose Databases** **データベース選択** をクリックするとメニュー画面に戻ります。

特別なログアウトの操作は必要ありません。検索画面右上の下記のマークをクリックすると京都府立大学附属図書館のホームページに戻ります。



その他詳しい利用方法、機能の説明につきましては極東書店ホームページ  
URL: <http://www.kyokuto-bk.co.jp> をご覧ください。

'05オープンキャンパス

7月30日(土) 7月31日(日)の両日オープンキャンパスが開催されました。  
 盛りだくさんのプログラムの合間を縫って、図書館へは昨年の35%増の第1日目332人(うち保護者等60人) 第2日目236人(うち保護者等44人)計568人(うち保護者等104人)の方にお越しいただきました。  
 昨年度は平日で、閲覧室には自習や読書、参考図書コーナーで調べものする在学生たちの姿がありましたが、本年度は土曜日・日曜日の閉館日でガラーンとした閲覧室に入りにくいのか、はたまた時間がないのか、入口でそと覗いて帰るグループやざっと書架の本を眺めて帰っていく高校生が目につきました。  
 来館者の増加にも関わらず、受付カウンターの職員も何か手持ちぶさたの感がありましたが、とりあえず無事終了することができました。

蔵書点検が終わりました!

8月15日(月)～9月2日(金)まで、通常の図書館業務を停止して蔵書点検及び館内整備を行いました。長期間にわたり、ご迷惑をおかけしました。その結果を報告します。

- 1. 蔵書の所在確認を行いました。**  
 2階閲覧室内の図書、40,155冊について点検しました。  
 その結果、過年度の蔵書点検で紛失になっていた図書が18冊発見されました。しかし、今回新たに紛失が確認されたものが170冊あり、平成14年度からの累積紛失図書数は、402冊になりました。
- 2. 資料の移動をしました。**  
 3階書庫に移動しました。  
 『近代中国史料叢刊〔正〕・續』...東書庫2から  
 カウンターで鍵を借りなくても見ることができるようになりました。  
 東書庫2に移動しました。  
 現在は受入をしていない新聞縮刷版(『京都新聞』『日本経済新聞』)...3階書庫から  
 『官報』『京都府公報』...東書庫1から  
 出版社等のPR誌(『図書』『ちくま』『学燈』など)...東書庫1から  
 東書庫1の和雑誌のABC順への並べ替えは、現在も継続して行っています。
- 3. 3階の様態替えをしました。**  
 共同研究室へ行く手前のスペースのレイアウトを替えました。  
 学習スペースを明るい窓側にし、休憩スペースを通路側にしました。  
 その他に、目録情報の修正・大量の書庫入れ(今までは、配架場所や請求記号が変わっているものもたくさんあります。資料を探す際には、前に見た資料でも、まず図書館のHPから検索して、現在の情報を確認してください)、資料の補修、館内の案内掲示の作成などを行いました。  
 利用しやすい図書館を目指して、今もコツコツと、整備作業は休みなく続けています。

2005年10月							2005年11月							2005年12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

【10/3(月)～ 通常貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】  
 【10/10(月) 体育の日】

【11/1(火)～ 通常貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】  
 【11/11(金) 六公立戦、11/24(木) 推薦入試】  
 【11/3(木) 文化の日、11/23(水) 勤労感謝の日】

【12/9(金)～27(火) 冬休み貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限～1/17(火))】  
 【12/23(金) 天皇誕生日】  
 【12/28(水)～1/4(水) 年末年始休館  
 新年は1/5(木)から開館】

開館時間等	
通常開館	9:00 - 20:00
全学休講日	11/11・11/24 9:00 - 16:45
冬期休業	12/23～1/9 9:00 - 16:45
休館日	土・日・祝祭日・年末年始